

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第22週の発生動向

全数報告の感染症 (22 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症： 報告なし。2 類感染症： 結核 4 例。3 類感染症： 報告なし。4 類感染症： 報告なし。
5 類感染症： 侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			90 歳代	女	肺結核	—
		日向	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70 歳代	女	患者	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—

定点把握の対象となる 5 類感染症

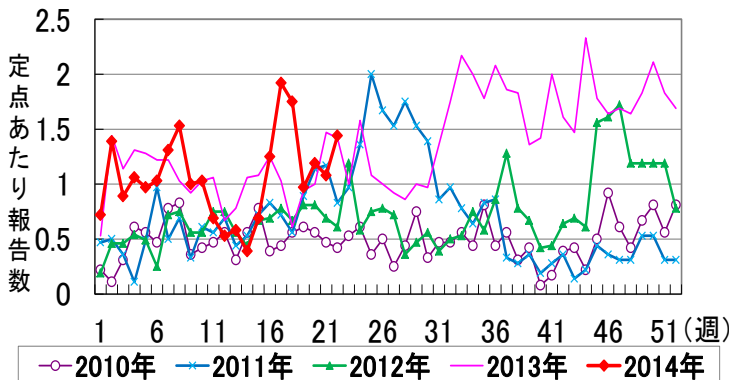
・定点医療機関からの報告総数は 884 人 (定点あたり 27.2) で、前週比 113%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病であった。減少した主な疾患は水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

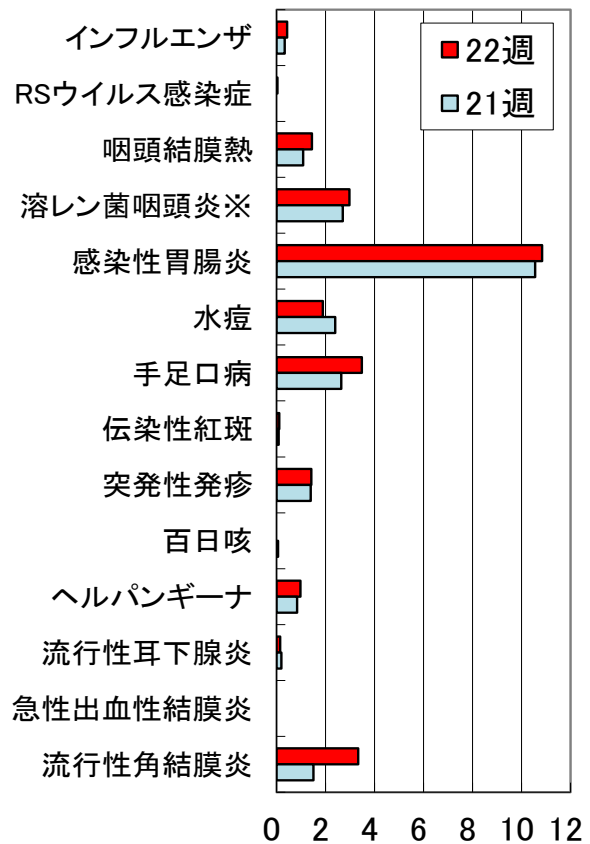
・報告数は 52 人 (1.4) で前週比 133%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.81) の約 1.8 倍であった。中央 (6.0)、日南 (3.7) 保健所からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月から 1 歳が全体の約半数を占めた。

咽頭結膜熱 発生状況



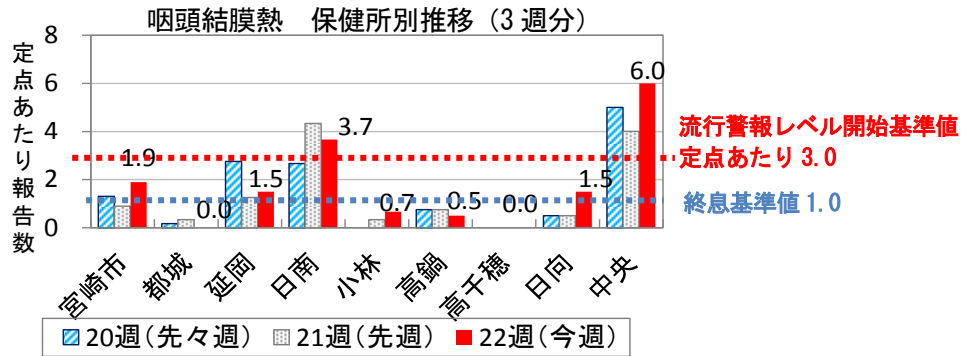
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》



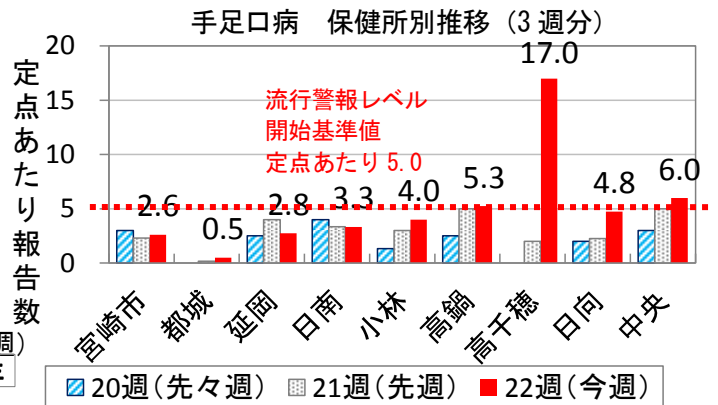
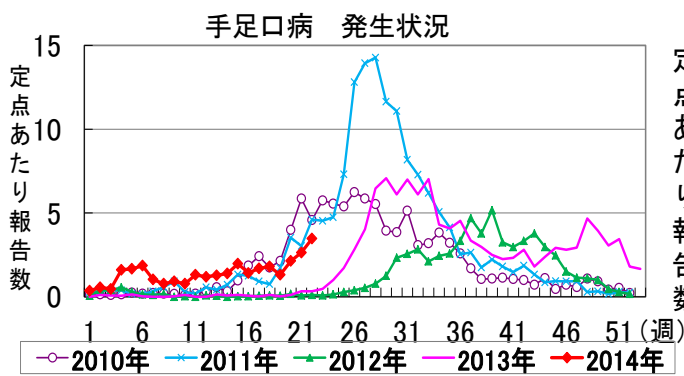
定点あたり報告数

※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



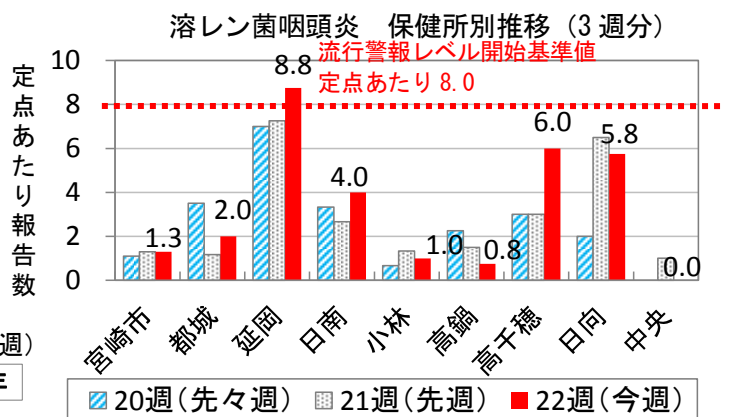
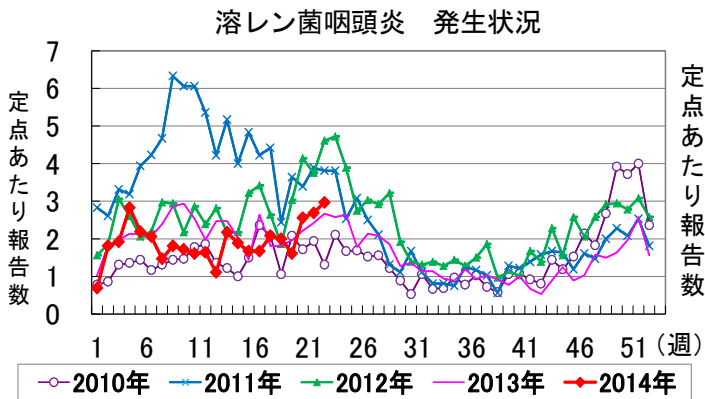
【手足口病】

・報告数は 125 人 (3.5) で前週比 132%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (2.1) の約 1.7 倍である。高千穂 (17.0)、中央 (6.0)、高鍋(5.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約8割を占めた。



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は 107 人 (3.0) で前週比 110%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (3.4) の約9割である。延岡保健所 (8.8) からの報告が多く、年齢別では3歳から6歳が全体の約6割を占めた。



★流行警報レベル開始基準値超過疾患★

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.8)
日南	咽頭結膜熱(3.7)
小林	なし
高鍋	手足口病(5.3)
高千穂	手足口病(17.0)
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(6.0)、手足口病(6.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

★基幹定点からの報告★

感染性胃腸炎（ロタウイルス）：高鍋保健所管内から1例報告された。患者は5歳で、群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成26年6月4日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管凝集付着性大腸菌(O127a:H21 aggR)	0～4	—	2014.4.19	EPEC疑	—	2014.4.25
EHEC(O128:H2 VT1)	10歳代	男	2014.4.25	無症状	便	2014.5.1
<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7:m,t:-)	20歳代	男	2014.4.23	慢性骨髄炎	骨内膿瘍	2014.5.1

○ 慢性骨髄炎を呈した20代後半の男性から、*Salmonella* Oranienburg が検出された。サルモネラ感染症は通常①胃腸炎型、②保菌型、③感染巣を持たない菌血症型、④腸チフス型、⑤腸管外局所病変型に分けられるが、⑤のひとつに骨髄炎がある。サルモネラ感染症のうち骨髄炎の発症率は0.76%と極めてまれである。日本でも起病菌が *S. Oranienburg* であった症例を含め、複数報告はあるものの、正確な発症頻度はわかっていない。サルモネラ骨髄炎は菌血症や胃腸炎の合併も頻度が高く、血液培養や便培養を実施することで確定診断につなげることができる。診断には喫食歴と海外渡航歴の問診をおこなうと共に、背景疾患を確認する必要がある（感染症誌 2003；77：516-520 他）。

★ウイルス

報告なし

🇯🇵 全国第21週の発生动向

□ 全数報告の感染症（全国第21週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	414例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32例	パラチフス	1例	
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	8例	エキノコックス症 1例
	重症熱性血小板減少症候群	2例	つつが虫病	6例	デング熱 5例
	日本紅斑熱	8例	マラリア	1例	レジオネラ症 23例
5類感染症	アメーバ赤痢	21例	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	20例	ジアルジア症 1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	39例	梅毒 27例
	破傷風	3例	風しん	3例	麻しん 6例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は17.3で、前週比99%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

手足口病の報告数は796人(0.25)で、前週比139%と増加した。宮崎県(2.6)、熊本県(2.5)、大分県(2.2)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約7割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は786人(0.25)で、前週比147%と増加した。熊本県(3.3)、佐賀県(1.6)、山口県(0.96)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約7割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第22週(05月26日～06月01日)

疾病名		第21週	第22週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	19	25	5	11	2	1	5	1			
	定点あたり	0.32	0.42	0.31	1.10	0.29	0.20	1.00	0.17	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	39	52	19		6	11	2	2		6	6
	定点あたり	1.08	1.44	1.90	0.00	1.50	3.67	0.67	0.50	0.00	1.50	6.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	97	107	13	12	35	12	3	3	6	23	
	定点あたり	2.69	2.97	1.30	2.00	8.75	4.00	1.00	0.75	6.00	5.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	380	390	78	87	70	41	39	28	4	42	1
	定点あたり	10.56	10.83	7.80	14.50	17.50	13.67	13.00	7.00	4.00	10.50	1.00
水痘	報告数	86	68	26	10	4	7	2	8		10	1
	定点あたり	2.39	1.89	2.60	1.67	1.00	2.33	0.67	2.00	0.00	2.50	1.00
手足口病	報告数	95	125	26	3	11	10	12	21	17	19	6
	定点あたり	2.64	3.47	2.60	0.50	2.75	3.33	4.00	5.25	17.00	4.75	6.00
伝染性紅斑	報告数	3	4			4						
	定点あたり	0.08	0.11	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	50	51	19	7	5	5	4	3		6	2
	定点あたり	1.39	1.42	1.90	1.17	1.25	1.67	1.33	0.75	0.00	1.50	2.00
百日咳	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	30	35	12	3	3	1	4			12	
	定点あたり	0.83	0.97	1.20	0.50	0.75	0.33	1.33	0.00	0.00	3.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	5	2			1			1	1	
	定点あたり	0.19	0.14	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	20	18	1	1						
	定点あたり	1.50	3.33	6.00	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	1						1			
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～22週)

2類感染症	結核	81例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	1例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例(1)
	梅毒	6例(1)	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲